

船舶事故調査報告書

令和4年12月21日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	令和3年9月19日 15時49分ごろ
発生場所	不明（神奈川県平塚市相模川馬入橋上流付近）
事故の概要	水上オートバイ ^{ヨースホー} Yusho19及び水上オートバイ ^{エフエックス・エスエフ} FX-SVH0は、共に遊走中、両船が衝突した。
事故調査の経過	令和3年9月22日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 水上オートバイ Yusho19、0.2トン（長さ2.87m） 232-46594 神奈川、個人所有 B 水上オートバイ FX-SVH0、0.2トン（長さ3.02m） 235-51417 神奈川、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A、免許不詳 B 船長B、二級小型・特殊
負傷者	A 負傷 1人（船長A） B なし
損傷	A 右舷側に破損等 B 船首部に破損等
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東南東、風速 約4m/s、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	A 船は、船長Aが1人で乗り組み、西進中、左舷船首方から遊走してきたB船の仲間の水上オートバイ（以下「水上オートバイB ₁ 」という。）が左旋回した際、船長Aが、水上オートバイB ₁ からの水しぶきがかかって目が見えなくなり、前方が見え始めて左舷船首方から急に接近してきたB船に気付いたが、衝突を回避することができず、B船と衝突した。 B 船は、船長Bが1人で乗り組み、水上オートバイB ₁ の後方を遊走中、水上オートバイB ₁ と共に左旋回した際、船長Bが、水上オートバイB ₁ からの水しぶきがかかって目が見えなくなり、前方が見え始めて右舷船首方から急に接近してきたA船に気付いたが、衝突を回避することができず、A船と衝突した。
分析	A 船は、西進中、左舷船首方から遊走してきた水上オートバイB ₁ が左旋回した際、船長Aが、水しぶきを受けて目が見えない状態で航行を続けたことから、左舷船首方から接近する水上オートバイB ₁ に気付くのが遅れ、B船と衝突したものと考えられる。 B 船は、水上オートバイB ₁ の後方を遊走中、共に左旋回した際、水しぶきを受けて目が見えない状態で航行を続けたことから、右舷船

	首方から接近するA船に気付くのが遅れ、A船と衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、A船が西進中、B船が遊走中、船長A及び船長Bが、水しぶきを受けて共に目が見えない状態で航行を続けたため、接近する互いの水上オートバイに気付くのが遅れ、両船が衝突したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・水上オートバイの船長は、他の水上オートバイと遊走する場合には、水しぶきが影響しないよう距離を離すこと。また、水しぶきを受けて目が見えなくなったときは、直ちに停止すること。